

『青山経済論集』第51巻 総目次

| 執筆者名 | タイトル | 号 |
|--------|---|-------|
| 相澤 與一 | 本間照光著『団体定期保険と企業社会』(書評) | 4 |
| 馬場 弓子 | A Revisit to the Decreasing Price Anomaly | 1・2・3 |
| 榎本 弘 | ケインズの「消費性向」をめぐる初期の論争 —いわゆる「正常心理法則」の含意と課題— | 1・2・3 |
| 藤井 賢治 | マーシャルからフリードマンへ —進化論的経済理解と方法論— | 1・2・3 |
| 深川 由起子 | 東アジアの構造調整とコーポレート・ガバナンス形成 —韓国の事例を中心に— | 1・2・3 |
| 後藤 文廣 | Note on Asymptotically Unidentifiable Likelihoods (研究ノート) | 1・2・3 |
| 平出 尚道 | アメリカ「南部」奴隷制と保護主義 —1824年関税法を中心に— | 4 |
| 本間 照光 | 団体定期保険普通保険約款の系譜 —「遺族保障」・「企業の受取り禁止」を明記—(資料) | 1・2・3 |
| 日向寺 純雄 | 炭素税の効果分析 | 1・2・3 |
| 佐藤 信洋 | —物流業のケース— | |
| 神野 直彦 | 堀場勇夫『地方分権の経済分析』(書評) | 1・2・3 |
| 熊谷 彰矩 | パーミット政策の理論と現実』(研究ノート) | 4 |
| 黒沼 健 | 電信と電灯 —19世紀電気技術史の再検討— | 4 |
| 三和 良一 | 占領期の日本造船規制の実態 | 1・2・3 |
| | 宇野発展段階論の可能性 —馬場宏二説と加藤榮一説の再検討を通して— | 4 |
| 中川 辰洋 | ユーロシステムの1年 —単一金融政策の成果と課題—(研究ノート) | 4 |
| 中込 正樹 | マクロ経済学の再検討 | 1・2・3 |
| | —新しいケインジアンとポスト・ケインジアンをめぐる—(研究 ノート) | |
| | ケインズの認識論的哲学(研究ノート) | 4 |
| 芹田 敏夫 | 日中取引データから見た日本の株式市場の基本特性 | 1・2・3 |
| 清水 克俊 | 企業部門の流動性と実物投資の実証分析 | 1・2・3 |
| 杉浦 勢之 | 4社体制確立過程における証券金融問題 —戦後証券市場の展開過程— | 4 |
| 高橋 重雄 | アメリカ合衆国ハイプレーンズ地域とその周辺における 日本系企業の立地について(研究ノート) | 4 |
| 田野 慶子 | ナチス期におけるライン・ヴェストファーレン電力株式会社の発展 | 4 |
| 東方 敬信 | キリスト教と資本主義 —ウェーバーとトニー—(1) | 1・2・3 |
| 美添 泰人 | 事業所に関する統計的推論の問題 | 1・2・3 |
| 美添 泰人 | A Role of Statistical Matching in Analyzing Household Surveys | 4 |
| 荒木 万寿夫 | | |

『青山経済論集』第52巻 総目次

| 執筆者名 | タイトル | 号 |
|--------|--|---|
| 青木 優 | Tanner-Sherrattモデルにおける最適施設配置問題 —計算幾何学と物理学からのアプローチ— | 2 |
| 馬場 弓子 | Procurement Auctions with Synergies | 1 |
| | A Note on Petroleum Reserve Auctions (研究ノート) | 4 |
| 藤井 賢治 | 不確実性におけるナイト的系譜とケインズの系譜 (研究ノート) | 4 |
| 深川 由起子 | 新興市場における機関投資家育成 —韓国経験— (研究ノート) | 3 |
| 平出 尚道 | 「アメリカ体制」研究の現在 | 4 |
| 本間 照光 | 日本商法「他人の生命の保険契約」の系譜 —「利益主義」を包摂する「同意主義」— | 4 |
| | 「他人の生命の保険契約」の沿革 —一貫する「被保険利益」— (資料) | 4 |
| 堀場 勇夫 | 地方分権と所得再分配政策 (展望) | 2 |
| | 地方分権と効率的資源配分 (展望) | 3 |
| 石井 信之 | Steven Pressman, <i>Fifty Major Economists</i> , 1999 (書評) | 2 |
| | 経済学史学会編『経済思想史辞典』2000 (書評) | 3 |
| 松尾 孝一 | 戦後日本のホワイトカラー労働組合主義の特質と展開(1) | 4 |
| 松下 正弘 | 為替変動、対外直接投資、及び産業の空洞化 | 1 |
| 三和良一 | 農地改革の経済政策史的検討 —政策決定過程からのアプローチ— (上) | 1 |
| 中川 辰洋 | ギリシャのユーロ圏加入の展望 —「経済収束プログラム」の展開と成果— (研究ノート) | 1 |
| 中込 正樹 | 「貧困の経済学」と「経済学の貧困」(研究ノート) | 1 |
| | NPO, 労働強度、および潜在能力 (研究ノート) | 2 |
| | 合理的経済人と法学的人間像 —刑法・犯罪学から学ぶこと— | 3 |
| | 自由主義・個人主義と公共哲学 —「リベラリスト・コミュニタリアン論争」の批判的検討— (研究ノート) | 4 |
| 中村 まづる | 高齢化社会における公的年金制度の持続可能性 | 4 |
| 中澤 進一 | 金本位下の為替理論 —新庄博氏の為替理論— | 3 |
| 成田 淳司 | 日本のビッグバン —途上国金融改革へのインプリケーション— | 1 |
| 芹田 敏夫 | 日中気配値データを用いた日経平均オプションの実証分析 | 3 |
| 清水 克俊 | 負債契約に関する研究ノート (研究ノート) | 2 |
| 高橋 朋一 | 経済変動とフラクタル次元の推定 | 2 |

| | | |
|---------|--|---|
| 矢 吹 初 | 階層的政府構造と租税競争 | 2 |
| | 政府構造のメカニズムデザイン(研究ノート) | 2 |
| | 資本の不可分性と租税競争(研究ノート) | 3 |
| 米 澤 義 衛 | 酒飲みの経済分析 | 4 |
| | —日本におけるビール産業の発展と市場構造の内容(1): 需要サイドの数量分析— | |
| 吉 岡 祐 次 | 不完備情報下における公的給付政策 | 2 |
| | 不完備情報下における租税政策と社会保険制度 | 4 |
| 美 添 泰 人 | 標本調査法の基礎理論—その1— | 2 |
| | 標本調査法の基礎理論—その2— | 3 |
| | 探索的データ解析と景気指標 | 4 |

『青山経済論集』第53巻 総目次

| 執筆者名 | タイトル | 号 |
|--------------|--|---|
| 馬場弓子 吉岡忠昭 | International Transfers and Environmental Quality: An Example (研究ノート) | 1 |
| 馬場弓子 | A Comparison of Market Structures in R & D with Endogenous Spillovers | 4 |
| 深川由起子 | 民間資本の対新興市場還流強化 —ポスト通貨危機・東アジアに残された課題—(研究ノート) | 3 |
| 後藤文廣 | Information in Semiparametric Models | 2 |
| 石井信之 | 経済思想史の諸類型(1) —ダウドとスコーセンの通史新著をめぐって—(研究ノート) | 4 |
| 松尾孝一 | 戦後日本のホワイトカラー労働組合主義の特質と展開(2) —自治体職員組合の事例を中心に— | 1 |
| 宮原勝一 | 財政投融资制度の経済分析(研究ノート) | 2 |
| 三和良一 | 農地改革の経済政策史的検討 —政策決定過程からのアプローチ—(下) | 1 |
| | 資本主義経済は何故速く成長するのか —「資本主義は何なのか」— | 2 |
| 中川辰洋 | インフレ目標はECBの説明責任を強化するか —P・ボフィンガーの所説を中心に—(研究ノート) | 2 |
| | Norbert Olszak, <i>Histoire des banques centrales</i> , 1998(書評) | 3 |
| 中込正樹 | 貨幣の哲学:再考(研究ノート) | 1 |
| | 公共性の意味論的分析(研究ノート) | 2 |
| | なぜ地域通貨問題を重要と考えるか(研究ノート) | 3 |
| 小張敬之 | コンピュータを利用した英語教育・世界観教育 —Virtual Realityの応用—(研究ノート) | 4 |
| 須田昌弥 | 財と情報の特性からみた企業のオフィス=工場立地パターンの分析 | 3 |
| 内野耕太郎 | 資産価格の変動と再建型倒産法制 | 4 |
| 矢吹初 | アカウントビリティと地方政府(研究ノート) | 2 |
| | 制限された所得再分配と人口移動(研究ノート) | 4 |
| 吉岡祐次 | 租税回避行動と最適所得税政策 —非線型最適所得税モデルによる—考察—(研究ノート) | 3 |
| 美添泰人 | わが国の統計調査用語の概観 | 3 |

『青山経済論集』第54巻 総目次

| 執筆者名 | タイトル | 号 |
|-----------------------------------|--|---|
| 馬場 弓子 | Auctions are not Always in behalf of Consumers | 3 |
| 深川 由起子 | 韓国の構造改革と制度再配置 —経路依存的変化と補完性構築の重要性— | 4 |
| 平出 尚道 | 集権主義と州権主義 —アンティベラム期における再検討—(研究ノート) | 4 |
| 平澤 典男 | 戦略的行動原理選択問題 —利他主義の戦略的基礎—(研究ノート) | 4 |
| 堀 真理子 | 転換期のリージョナル・シアター —求められるリーダーシップ— | 3 |
| 堀場 勇夫 持田 信樹 深江 敬志 | 地方交付税制度とモラルハザード —固定資産税制度との関連で— | 4 |
| 堀場 勇夫 矢吹 初 | 地方分権と所得再分配(研究ノート) | 4 |
| 石井 信之 | 経済思想史通史の方法的諸問題 —R.E.バックハウスの新著をめぐって—(研究ノート) | 2 |
| 熊谷 彰矩 | 排出権取引に関する若干の覚書 —アメリカの事例から—(研究ノート) | 3 |
| 松尾 孝一 | 地方公務員の初期キャリア管理 —政令指定都市A市の大卒事務系職員の事例から— | 3 |
| | 学歴達成における階層・地域間格差と入試類型 —入試政策への含意—(研究ノート) | 4 |
| 三和良一 上田 章 杉浦 勢之 | 橋本寿朗『近代日本経済史』『現代日本経済史』 『戦後日本経済の成長構造』(書評) | 1 |
| 三和良一 | 経済政策史のケース・スタディ —松方財政— | 3 |
| | 経済政策史のケース・スタディ —井上財政— | 4 |
| 三和良一 逢 錦聚 | WTO加盟後の中国経済(資料紹介) | 4 |
| 中川 辰洋 | European Monetary Integration 1969–2002: The Long and Winding Road that Led to the Euro | 2 |
| 中込 正樹 小林 健太郎 岩崎 隆大 小笠原 崇 | 地域通貨 —市場の失敗への新たな処方箋— | 1 |

| | | |
|-----------|---|---|
| 中 込 正 樹 | NPOと「遊び」の哲学 —自律性・内発性の認識論的分析—(研究ノート) | 1 |
| | 競争の中の病理 —自由の喪失—(研究ノート) | 2 |
| | グローバル化の中の自由と内発的發展(研究ノート) | 3 |
| | 元型論のレゾンデートル —不確実性への新たなアプローチ—(研究ノート) | 4 |
| 中 村 まづる | 財政再建における公的年金制度の民営化 —イギリスの年金改革をめぐる— | 3 |
| 白 井 邦 彦 | 「公的部門における直接的雇用創出策」をめぐる国際的動向 —OECDでの研究を題材として— | 3 |
| 高 橋 重 雄 | シカゴ学派からロサンゼルス学派へ —都市研究におけるパラダイムの変化について—(研究ノート) | 4 |
| 高 橋 朋 一 | 株価の回帰直線への当てはめとニューラルネットワークに よる株価の長期予測システム | 1 |
| 東 方 敬 信 | キリスト教と資本主義 —ウェーバーとトーニー(2)— | 3 |
| 内 野 耕 太 郎 | アトキンソン教授講演紹介 “Economic Performance and Social Justice”(資料) | 1 |
| | 地域通貨に関する一試論 —起源、法的性質、経済政策—(研究ノート) | 4 |
| 矢 吹 初 | ルール化された一般補助金とモラルハザード(Ⅰ) | 2 |
| | ルール化された一般補助金とモラルハザード(Ⅱ) | 4 |
| 米 澤 義 衛 | 100年/個のデータと4社/冊の社史の経済分析 —日本におけるビール産業と市場構造の変容(2-1): 供給サイドのパターン/物語分析— | 3 |
| 吉 岡 祐 次 | 包括的所得税に関する理論的な一考察 —最適非線形課税理論の観点から—(研究ノート) | 3 |
| | 租税回避行動に関する理論的な一考察 —節税行動と脱税行動の複合モデル—(研究ノート) | 4 |
| 美 添 泰 人 | 経済分析における統計的手法の問題点 | 3 |

『青山経済論集』第55巻 総目次

| 執筆者名 | タイトル | 号 |
|----------------|---|---|
| 馬場 弓子 | A Note on the Economics of Post Modern Manufacturing (研究ノート) | 4 |
| 平出 尚道 | アンティベラム期ルイジアナ州における「アメリカ体制」の受容 | 4 |
| 平澤 典男 | コンジェクチュア均衡と学習のジレンマ(研究ノート) | 4 |
| 本間 照光 | 最高裁判所への意見書: 団体保険の本旨(遺族保障)と 法理(支分契約性) —遺族保障が遺族保障となる問題解決—(資料) | 4 |
| 黒沼 健 | 近代製鉄技術の導入過程について —幕末の反射炉から官営八幡製鉄所まで— | 3 |
| 松尾 孝一 | ブレア政権下のイギリスにおける労働組合の組織化戦略 —公共部門を中心に—(研究ノート) | 3 |
| 三和 良一 | 経済政策史のケース・スタディ —ドッジ・ライン—(特別寄稿) | 4 |
| Marc C. Menish | Film Production Financing in the United States | 2 |
| 中川 辰洋 | 現代フランス学生の就職事情 —インターンシップを中心に—(研究ノート) | 1 |
| 中込 正樹 | ケインズ「利子生活者安楽死問題」の失敗的成功(研究ノート) | 1 |
| | 「日常性」の経済哲学(研究ノート) | 2 |
| | 「ハゲタカ投資家」の経済哲学(研究ノート) | 3 |
| 中村 まづる | 公的年金改革の方向性 —積立金資金運用考察の視点— | 3 |
| 清水 克俊 | Liquidation Cost and Capital Structure in Japan | 4 |
| 白井 邦彦 | 雇用保護制度と雇用失業との相関分析 —OECDによる研究を題材として— | 4 |
| 杉浦 勢之 | 戦後占領政策の転換と証券取引所 —戦後証券市場の再開過程— | 4 |
| 杉浦 勢之 | 戦後型経済体制の形成をめぐって(資料紹介) | 4 |
| 楊 棟梁 | | |
| 内野 耕太郎 | 米国非営利団体税制の経済分析と制度の実態(研究ノート) | 4 |
| 矢吹 初 | 補助金政策と情報構造 | 2 |
| 矢吹 初 | 地方交付税の財政調整効果(Ⅰ) | 1 |
| 高橋 朋一 | —時間バイアスの検証—(研究ノート) | |
| | 地方交付税の財政調整効果(Ⅱ) | 2 |
| | —時間バイアスの検証—(研究ノート) | |
| 米澤 義衛 | 100年/個のデータと4社/冊の社史の経済分析 —日本におけるビール産業と市場構造の変容(2-2): 供給サイドのパターン/物語分析— | 1 |

『青山経済論集』第56巻 総目次

| 執筆者名 | タイトル | 号 |
|-------|--|---|
| 藤村 学 | Economic Analysis of Program Loans: The Case of the Asian Development Bank(研究ノート) | 1 |
| 石井 信之 | Gianni Vaggi and Peter Groenewegen, <i>A Concise History of Economic Thought: From Mercantilism to Monetarism</i> , 2003(書評) | 2 |
| 中川 辰洋 | ヨーロッパ銀行セクターの再編成(Ⅰ)(研究ノート) | 3 |
| | ヨーロッパ銀行セクターの再編成(Ⅱ)(研究ノート) | 4 |
| 中込 正樹 | ゆがめられた競争 —「いじめ」問題から学ぶもの—(研究ノート) | 2 |
| | 経済社会における逸脱としての悪と「自由」の復活 —意味論的経済哲学として—(研究ノート) | 4 |
| 小張 敬之 | サイバー環境を利用した英語教育 | 4 |
| 三條 和博 | GISによる認知地図分析に関する考察 —ファジイ尺度導入の意義— | 1 |
| | 農産物における仮想水概念導入の問題点 | 2 |
| | 日本における水問題からみた水利用概念の検討 | 3 |
| | 日本における高分解能衛星画像の利用動向 | 4 |
| 三條 和博 | GISを用いた郵便局の配置分析(研究ノート) | 3 |
| 高橋 朋一 | | |
| 白井 邦彦 | 量産組立型産業における人材活用戦略の新展開 —生産工程業務での請負労働者活用拡大のメカニズム— | 3 |
| 須田 昌弥 | 支店配置モデルの再検討 —現実との整合性を求めて— | 1 |
| 矢吹 初 | 標準税率の経済効果 —事後的救済モデルを利用して—(研究ノート) | 1 |
| 美添 泰人 | 統計データアーカイブの現状と官庁統計における今後の課題 | 2 |
| | 統計的照合手法の基礎理論と最近の適用例 | 4 |

『青山経済論集』第57巻 総目次

| 執筆者名 | タイトル | 号 |
|---------------------|---|---|
| Christopher Edmonds | Relative Economic Decline and Unrealized Demographic | 1 |
| Manabu Fujimura | Opportunity in the Philippines(研究ノート) | |
| 石橋郁雄 | ソフトウェア開発における高機能化とサンプル配布戦略の関連に関する考察 | 3 |
| 中川辰洋 | Jacques Delors(avec la collaboration de Jean-Louis Arnaud), <i>Mémoires</i> (書評) | 1 |
| | Joachim Bitterlich, <i>France-Allemagne: Mission impossible?</i> <i>Comment relancer la construction européenne</i> (書評) | 2 |
| | イタリア銀行セクターの再編成と変容(Ⅰ) —5大銀行グループへの集中進む銀行市場— | 3 |
| | イタリア銀行セクターの再編成と変容(Ⅱ) —5大銀行グループへの集中進む銀行市場— | 4 |
| | フランス貯蓄銀行グループの構造と変容 —金融コングロマリット化する協同組合銀行—(研究ノート) | 4 |
| 中込正樹 | 経済学における認知問題の方法論的再検討:序論(研究ノート) | 3 |
| 三條和博 | 大学生における環境意識の実態 —青山学院大学1年生について— | 1 |
| | 青山学院大学1年生における環境意識と行動(Ⅰ) | 2 |
| | 青山学院大学1年生における環境意識と行動(Ⅱ) | 3 |
| | 日本における防災GISの現状と課題 | 4 |
| Katsutoshi Shimizu | Maintaining Reputation during a Financial Crisis | 2 |
| 白井邦彦 | 近年における日本の雇用保護制度改革の国際的位置(上) —もうひとつの「法と経済学」— | 2 |
| | 近年における日本の雇用保護制度改革の国際的位置(下) —もうひとつの「法と経済学」— | 3 |
| 高橋朋一 | GISを用いた郵便局と民間金融機関の配置についての空間分析 | 4 |
| 矢吹初 | 資本の移動可能性と租税競争の非効率性(研究ノート) | 1 |
| 矢吹初 高橋朋一 | 交付税の財政調整の検討(研究ノート) | 4 |
| 米澤義衛 | 日米経済成長のパターンとメカニズム —「学習効果」なき日本経済!?(研究ノート) | 4 |
| 吉岡祐次 | 公的資金の限界費用と限界超過負担の関係 —租税制度の歪みを測定する観点から—(研究ノート) | 2 |
| 美添泰人 | 日本の官庁統計と経済統計改革 | 3 |

『青山経済論集』第58巻 総目次

| 執筆者名 | タイトル | 号 |
|--------|--|---|
| 藤村 学 | 越境道路インフラの経済効果 —タイ・ラオス・中国雲南省を結ぶ南北経済回廊の事例— (研究ノート) | 2 |
| 今久保 幸生 | 田野慶子著『ドイツ資本主義とエネルギー産業—工業化過程における石炭業・電力業』(書評) | 4 |
| 石井 信之 | Steven Pressman, <i>Fifty Major Economists</i> (書評) | 4 |
| 松尾 孝一 | 「エリート」予備軍への職業教育の現状と課題 —進学校アンケートの結果から— | 4 |
| | 「進学校における進路指導と職業キャリア意識形成に関するアンケート」集計結果(資料) | 4 |
| 宮原 勝一 | IT化進捗度の実証分析 —個票データを用いた分析— | 1 |
| | 日本の景気循環の構造 —マクロ経済時系列における循環成分と傾向成分— | 2 |
| 中川 辰洋 | イタリア銀行M&Aスキャンダル —2005年3月～2006年2月—(研究ノート) | 1 |
| | Guy Verhofstadt, <i>Les Etats-Unis d'Europe</i> (書評) | 2 |
| | リシャル・カンティヨンと価格メカニズム(I) —「経済学の揺籃」の意味するもの— | 3 |
| | リシャル・カンティヨンと価格メカニズム(II) —「経済学の揺籃」の意味するもの— | 4 |
| 中込 正樹 | 行動経済学 —批判的展望—(研究ノート) | 3 |
| | 不確実性と競争の認知論的経済学(研究ノート) | 4 |
| 成田 淳司 | コーホートデータによる1990年以降の消費・貯蓄行動 | 2 |
| | コーホートデータによる1966年以降の金融資産残高・ 負債残高の推移 | 3 |
| 三條 和博 | 大学生における生活用水の認識 —学生レポートの分析から— | 3 |
| 高橋 朋一 | GISを用いた空間分析による郵便局と民間金融機関の 競合性の検証(研究ノート) | 1 |
| | GISを用いた郵便局と民間金融機関の地域間格差の検証 | 4 |
| 矢吹 初 | わが国地方財政の外れ値 | 1 |
| 高橋 朋一 | —交付税の財政調整の視点から— | |
| 吉岡 祐次 | | |
| 美添 泰人 | 政策評価における統計の役割と消費者物価指数 | 4 |

『青山経済論集』第59巻 総目次

| 執筆者名 | タイトル | 号 |
|--------|----------------------------------|---|
| 後藤 智弘 | SNA消費データ分類による消費理論の検証 | 2 |
| 平出 尚道 | 18・19世紀スコットランド・ハイランドにおける麻工業 | 4 |
| 宮原 勝一 | 産業集積とイノベーションに関する実証分析 | 1 |
| 中川 辰洋 | 社会的経済論ノート | 1 |
| | —フランス型「社会的企業」を中心にして— | |
| | フランス協同組合銀行セクターの構造と変容(Ⅰ) | 2 |
| | —NATIXISグループの誕生を中心にして— | |
| | フランス協同組合銀行セクターの構造と変容(Ⅱ) | 3 |
| | —NATIXISグループの誕生を中心にして— | |
| | SWFは銀行の“救世主”か? | 4 |
| | —いわゆる「サブプライム問題」対策の一側面—(研究ノート) | |
| 中込 正樹 | リスク社会の経済学:序説(研究ノート) | 1 |
| | なぜわれわれはリスクヘッジに失敗するのか? | 3 |
| | —行動経済学的アプローチ(前編)—(研究ノート) | |
| | なぜわれわれはリスクヘッジに失敗するのか? | 4 |
| | —行動経済学的アプローチ(後編)—(研究ノート) | |
| 成田 淳司 | 日本の家計部門における金融資産蓄積の推移とその形態 | 2 |
| | —1990年から2006年まで—(研究ノート) | |
| | アメリカ合衆国における個人貯蓄率の低下について | 3 |
| | —Robert J. Gordonの見解を中心に—(研究ノート) | |
| 高橋 朋一 | GISを用いた農協の統廃合による店舗の空間分析 | 1 |
| 矢吹 初 | 財政調整制度の理論的根拠 | 4 |
| | —数値計算と視覚化—(研究ノート) | |
| 米澤 義衛 | 追試 日米経済成長のパターンとメカニズム | 1 |
| | —「学習効果」なき日本経済!?!—(研究ノート) | |
| 美添 泰人 | 統計による客観的根拠と政策立案 | 2 |
| 美添 泰人 | 公的統計の提供と高度利用 | 3 |
| 荒木万 寿夫 | | |

『青山経済論集』第60巻 総目次

| 執筆者名 | タイトル | 号 | |
|----------------------------------|---|---|---|
| Yumiko Baba | Sequential Auctions with Common Preferences | 2 | |
| | Sabotage in Contests with Inequity Averse Contestants | 3 | |
| | Prospect Theory and Auctions | 4 | |
| Mnabu Fujimura | Economic Integration in the GMS and Cross-border Transport Infrastructure (研究ノート) | 1 | |
| 福原 崇之 | プロスポーツリーグにおける戦力均衡と観客数の関連性 —J1リーグの場合— | 2 | |
| 後藤 智弘 | 数値計算によるBuffer-Stock Saving Modelの分析 (研究ノート) | 4 | |
| 石井 信之 | 経済思想史通史像への模索 —サンデルリン、トラウトヴァイン、ヴントラーク共著 『簡略経済思想史』(2008)をめぐって— (研究ノート) | 4 | |
| 宮原 勝一 | 東アジアにおける産業集積の要因分析 | 1 | |
| 中川 辰洋 | 「ソジェン・スキャンダル」ノート —P-A・ドゥロメ著『消えた50億ユーロ』を中心にして— (研究ノート) | 1 | |
| | MAI68 再訪 (I) —1968年5月事件40周年にさいして— (研究ノート) | 2 | |
| | MAI68 再訪 (II) —1968年5月事件40周年にさいして— (研究ノート) | 3 | |
| | 転機に立つフランス協同組合銀行セクター —庶民銀行・貯蓄銀行合併のインプリケーション— | 3 | |
| | MAI68 余話 —68年5月事件発祥の地ナンテール・キャンパスを歩く— (研究ノート) | 4 | |
| | 中込 正樹 | 予測と意思決定に関する批判的考察 —実験経済学、行動経済学および認知経済学— (研究ノート) | 3 |
| | 成田 淳司 | 貯蓄・投資に関する経済統計について —Richard N. Cooperの見解— (研究ノート) | 1 |
| 西川 雅史 加藤 尊秋 八田 昌久 松本 史朗 | 原子力発電所の立地場所の選定 | 4 | |
| 矢吹 初 | 資本の移動コストと租税競争 | 2 | |
| 米澤 義衛 | 深尾京司・宮川努[編]『生産性と日本の経済成長: JIPデータベース による産業・企業レベルの実証分析』(書評) | 3 | |

『青山経済論集』 第61巻 総目次

| 執筆者名 | タイトル | 号 |
|--|---|---|
| Yumiko Baba | Sequential Contests with Multiple Prizes | 2 |
| | Contests with Cross-Shareholdings(研究ノート) | 2 |
| 福原 崇之 | プロサッカーリーグの勝率と利潤の関係 —パネル分析による検証— | 2 |
| 堀場 勇夫 望月 正光 | カナダの協調売上税とマクロ税収配分システム | 1 |
| 加藤 晃 成田 淳司 | Alchian and Allen の定理について | 4 |
| 松尾 孝一 | 公務員制度改革と公務労使関係の変化 —庁内労使関係を中心に— | 1 |
| | イギリス公務部門労働組合の構造と性格(研究ノート) | 2 |
| 中川 辰洋 | スイス金融市場の将来とタックスヘイブン問題 | 1 |
| | ジョン・ローの虚像と実像(I) | 2 |
| | —経済学説史上の再評価をめぐって— | |
| | ジョン・ローの虚像と実像(II) | 3 |
| | —経済学説史上の再評価をめぐって— | |
| | ジョン・ロー貨幣論研究再考 | 3 |
| | —ワッサーマン/ビーチ論文(1934年)を中心に—(研究ノート) | |
| | ジョン・ローの虚像と実像(III) | 4 |
| | —経済学説史上の再評価をめぐって— | |
| | ジョン・ローの「マクロ経済分析」の意義と限界 | 4 |
| | —ロバート・V・イーグリーの所説を中心に—(研究ノート) | |
| | Pierre CAHUC et André ZYLBERBERG, <i>Les réformes ratées du Président Nicolas Sarkozy</i> (書評) | 4 |
| 中込 正樹 | 情動と感情の新しいニューロ・エコノミクス—展望と批判— | 3 |
| | 食の危機とリスク心理の認知経済学: 序説(研究ノート) | 4 |
| Yoko Shirasu | Flight-to-Liquidity and Flight-to-Quality: A Lesson from the Japanese Financial Crisis of the late 1990s | 2 |
| 矢吹 初 内山 義英 高橋 朋一 深江 敬志 吉岡 祐次 | クラスター分析による地方自治体の分類(研究ノート) | 2 |
| 吉岡 祐次 | 所得の相対性と所得税の累進性 —所得税の理論分析に関する一考察—(研究ノート) | 3 |

『青山経済論集』第62巻 総目次

| 執筆者名 | タイトル | 号 |
|---------------|---|---|
| 平澤典男 | PD社会における利他的集団の生存可能性(研究ノート) | 3 |
| Takashi Inoue | Hypergammy and Hypogamy in International Marriage: A Case of Recent Marriage between Japanese and Korean | 3 |
| 石井信之 | Jan Horst Keppler, <i>Adam Smith and the Economy of the Passions</i> , 2010(書評) | 3 |
| | アダム・スミス研究の全体像 —スミス思想の哲学的基礎・序論— | 4 |
| 中川辰洋 | ジョン・ローとリチャール・カンティヨン(Ⅰ) —銀行・信用論のインプリケーション— | 1 |
| | SWF(政府系投資ファンド)再論 —国家持ち株会社化の模索とその可能性をめぐって—(研究ノート) | 1 |
| | ジョン・ローとリチャール・カンティヨン(Ⅱ) —銀行・信用論のインプリケーション— | 2 |
| | チャイルド・グルネー・テュルゴー —「資本」概念の形成と成立に関する一考察(研究ノート) | 2 |
| | ギリシャ危機と再生再建計画の深層 —連邦的ルールを志向するユーロ圏— | 3 |
| | ユーロ圏債務危機の新展開 —2010年12月のEU首脳会議決定とその含意— | 4 |
| | マイケル・ルイス著『世紀の空売り—世界経済の破綻に賭けた 男たち—』(書評) | 4 |
| 中込正樹 | 食品の偽装表示と企業倫理の認知経済学 —アノマリーに対する試論的考察—(研究ノート) | 3 |
| 西川雅史 | 乳幼児医療費助成制度の一考察(上) —都道府県における所得制限と自己負担—(研究ノート) | 3 |
| | 乳幼児医療費助成制度の一考察(下) —市町村の制度選択—(研究ノート) | 4 |
| 矢吹初 | 平成の大合併の要因分析 —テキスト・マイニングによる質的分析—(研究ノート) | 1 |
| | 市町村合併の費用削減効果(研究ノート) | 2 |
| | 平成の大合併の効果 —テキスト・マイニングによる質的分析— | 3 |
| 矢吹初 | 市町村合併が地価に与える影響 | 3 |
| 高橋朋一 | —GISを用いた相模原市の事例—(研究ノート) | |
| 美添泰人 | 生産性の測定と指数の理論(その1) | 1 |
| | 経済統計の現代的分析手法 | 2 |
| | 生産性の測定と指数の理論(その2) | 4 |

青山経済論集 第63巻 総目次

| 執筆者名 | タイトル | 号数 |
|-------------|--|----|
| 後藤智弘 | 可変回帰係数モデルを用いた消費者行動の分析 | 3 |
| 後藤文廣 | | |
| 美添泰人 | | |
| 平出尚道 | 1820年代アメリカ保護主義とイギリス議会 | 4 |
| 堀場勇夫 | 地方消費税の税収配分方式に関する実証分析 | 1 |
| 宮原勝一 | —パネルデータ分析を用いた検証— (研究ノート) | |
| 望月正光 | | |
| 石井信之 | 伝記研究によるアダム・スミスの哲学思想像 | 4 |
| | —I. S. ロスとN. フィリップソンのスミス伝の比較検討— | |
| 今喜史 | 国際貿易が失業率に与える影響に関する理論研究の展望 | 4 |
| | —賃金の硬直的な経済における貿易の自由化— (研究ノート) | |
| 松本茂 | ボランティア団体への加盟とボランティア活動への参加 | 3 |
| | —ボランティア団体は人々の環境ボランティア活動を 促進するか?— | |
| 松下正弘 | 為替変動、対外直接投資、および産業の空洞化 | 3 |
| 後藤文廣 | —最近10年の動きを見て— (特別寄稿) | |
| 山下隆之 | | |
| Marc Menish | Teaching Economic English Terminology and Principles Through Media: Module Overview and Evaluation | 2 |
| 中川辰洋 | テュルゴー資本理論研究 (I) | 1 |
| | —経済学の古典形成における意義と限界— | |
| | トリシェ後の ECB | 1 |
| | —“スーパーマリオ” 擁立の意味するもの— (研究ノート) | |
| | テュルゴー資本理論研究 (II) | 2 |
| | —経済学の古典形成における意義と限界— | |
| | ユーロ圏債務危機の佳境 | 2 |
| | —いわゆる“ユーロボンド” 発行に向けて— (研究ノート) | |
| | テュルゴー資本理論研究 (III) | 3 |
| | —経済学の古典形成における意義と限界— | |

| | | |
|---------|--|---|
| | ユーロボンド構想の有効性と実効性 | 3 |
| | —究極のプロジェクトへの準備はできているか?— (研究ノート) | |
| | テュルゴー資本理論研究 (IV・完) | 4 |
| | —経済学の古典形成における意義と限界— | |
| | テュルゴー利子論への補遺 | 4 |
| | —「貨幣貸付に関する覚書」を中心に— (研究ノート) | |
| 中 込 正 樹 | Risk as Feelings と Ambiguity as Emotions をめぐる 方法論的思索 (研究ノート) | 3 |
| 成 田 淳 司 | 金融政策の手段について (研究ノート) | 1 |
| | 金融政策の手段について (その2) (研究ノート) | 2 |
| 芹 田 敏 夫 | ガソリン暫定税率の廃止と復活が先物市場に与える影響 | 3 |
| 白 須 洋 子 | 社債スプレッド変動要因と銀行の債券投資活動について —流動性の視点から2つの金融危機を比較して— | 4 |
| 米 澤 義 衛 | 港徹雄『日本のものづくり競争力基盤の変遷』(書評) | 4 |
| 美 添 泰 人 | 統計的推論の原理とベイズ理論 (研究ノート) | 3 |

『青山経済論集』第64巻 総目次

| 執筆者名 | タイトル | 号 |
|-------------------------|--|--------|
| Yoshito Funashima | Regional Income Redistribution and Its Risk-Sharing Effects under Uncertainty: The Case of Japan's Spotty Prosperity | 2 |
| 舟島 義人 堀場 勇夫 宮原 勝一 | 地方税の安定性に関する一考察 —時変パラメータモデルを用いて— | 4 |
| Takashi Inoue | Which Does City Size Distribution Depend on, the Rank-Size Rule or the Lognormal Distribution Model? | 3 |
| 石井 信之 | 経済思想史・経済学史研究回顧 —通史、ノーベル経済学賞、アダム・スミスをめぐって— (特別寄稿) | 4 |
| 金田 由紀子 | 1860年の日米交流 —詩・写真・挿絵・日記に記録された日本—(研究ノート) | 2 |
| 今 喜史 | サーチ・マッチング理論に基づく国際貿易と失業率の 研究の展望(研究ノート) | 4 |
| 牧 和生 中込 正樹 | ホスピタリティにおける期待と予測 | 3 |
| 松尾 孝一 | 地方自治体における非正規職員問題 —その現状と課題— | 4 |
| 永山 のどか | 19世紀後半～1920年代ドイツにおける企業家と 住宅供給(上) —ゾーリンゲン市の事例— | 1 |
| | 19世紀後半～1920年代ドイツにおける企業家と 住宅供給(下) —ゾーリンゲン市の事例— | 2 |
| 中川 辰洋 | ユーロボンド創出構想の理念と現実 —ヨーロッパ委員会レポートを中心に— | 1 |
| | クレディ・アグリコールの構造と変貌 —株式上場10年の回顧と展望—(研究ノート) | 1 |
| | 今次EU首脳会議の合意とその含意 —いわゆる「銀行同盟」構想を中心に— | 2 |
| | ユーロ圏銀行同盟考 —全面同盟か、それとも部分同盟か?— | 3 |
| | 「資本」概念成立探究 —馬場宏二「資本・資本家・資本主義」を中心に— | 4 |
| 中込 正樹 | ブレイン・デコーディングと認知的フレームの選択に関する ニューロ・エコノミクスの実験研究とその認知哲学的含意の考察 苦の経済学(研究ノート) | 4 4 |

| | | |
|-------|--|---|
| 中村 隆之 | ケインズの「投資の社会化」概念の変遷 —マーシャルとの関係を通じて— | 4 |
| 成田 淳司 | 非伝統的金融政策について(研究ノート) | 1 |
| 西川 雅史 | 地方自治体の業績投票 —首長選挙と地方財政— | 2 |
| 高橋 重雄 | 青山学院大学経済学部における産学官連携事業の 取り組みについて(資料) | 4 |
| 高嶋 修一 | 大正・昭和前期の東京近郊における耕地整理組合経営 —玉川全円耕地整理組合を事例として— | 2 |
| | 明治の兎バブル(研究ノート) | 4 |
| 美添 泰人 | 景気動向指数と頑健統計学 | 3 |

『青山経済論集』第65巻 総目次

| 執筆者名 | タイトル | 号 |
|--|---|---|
| 藤森裕美 牧和生 中込正樹 | サunkコスト効果と能動的リスク志向行動 —理由に基づく選択の合理性— | 2 |
| 藤森裕美 | 事後再生の行動経済学的可能性 —再倒産企業の事例から— | 3 |
| | 事後承継における後継者育成問題に関する行動経済学的考察 —企業の意識調査をもとに— | 4 |
| 舟島義人 堀場勇夫 宮原勝一 | 地方政府の公共投資と経済安定化 —政策反応関数の推定による実証分析—(研究ノート) | 1 |
| 平出尚道 | 1840年代アメリカ南部ホイッグ党と保護主義 | 4 |
| 牧和生 藤森裕美 中込正樹 | ホスピタリティへのニューロ・エコノミクスアプローチ —おもてなしを超えた他者理解としてのホスピタリティ像の 確立— | 2 |
| 牧和生 中込正樹 | 仲間意識のニューロ・エコノミクス(研究ノート) | 2 |
| 中川辰洋 | キプロス金融救済の混迷 —ユーロ圏銀行同盟構想への教訓— | 1 |
| | ユーロ圏銀行同盟再考 —2013年6月のEU首脳会議合意のインプリケーション— | 2 |
| | 経営危機脱出なるかフランス系金融機関 —クレディ・アグリコール・グループを中心に— | 3 |
| | Cherchez l'homme (事件の陰に男あり) —いわゆるリーマン・ショック5周年に寄せて—(研究ノート) | 3 |
| | ユーロ圏銀行同盟の理念と現実 —一歩前進、二歩後退— | 4 |
| 中込正樹 牧和生 堀健夫 水上英貴 平澤典男 石井信之 | 人は本当にアダム・スミスのな道德判断を行うのか? —ニューロエコノミクス実験による検証— | 4 |
| 中村隆之 | シュンペーターの資本主義衰退論 —空回りする経済・英雄的企業者と「社会化」— | 2 |
| 成田淳司 | 金融政策のトランスミッション・メカニズムについて(Ⅰ)(研究ノート) | 3 |
| 高橋朋一 | 復興に関する土地利用の変化について(研究ノート) | 2 |
| 美添泰人 | 統計教育と資格認証 | 4 |

『青山経済論集』第66巻 総目次

| 執筆者名 | タイトル | 号 |
|---------------|---|---|
| Yumiko Baba | A Note on a Dutch Auction with Time Credit | 4 |
| 藤村 学 | 大メコン圏における経済回廊の現状と越境輸送インフラの 経済効果(その1) —南北回廊および北部回廊—(研究ノート) | 1 |
| | 大メコン圏における経済回廊の現状と越境輸送インフラの 経済効果(その2) —東西回廊とその関連ルート—(研究ノート) | 2 |
| | 大メコン圏における経済回廊の現状と越境輸送インフラの 経済効果(その3) —南部回廊および南部沿岸回廊とその関連ルート—(研究ノート) | 3 |
| | 大メコン圏における経済回廊の現状と越境輸送インフラの 経済効果(その4) —東部回廊とその関連ルート—(研究ノート) | 4 |
| Fumihito Goto | Efficient Semiparametric Estimation for Type 1 Left Censoring | 1 |
| 堀場 勇夫 | 地方公営企業の役割と実証分析 —上水道事業を中心として—(研究ノート) | 3 |
| 加藤 晃 成田 淳司 | Alchian and Allen の定理の実証 —日本の林檎による検証—(1) | 1 |
| 牧 和生 | 文化を超えるホスピタリティについての試論(研究ノート) | 2 |
| 松本 茂 | 政策手段としての消費者への環境助成 | 2 |
| 松崎 朱芳 | 乗合バス事業における最近隣測度法を用いた空間的分析 —千葉県を事例に— | 2 |
| | 関東の大手私鉄事業者におけるバス事業に関する一考察 —フィーダー効果の視点から—(研究ノート) | 4 |
| 三和 良一 | 日本資本主義の発展段階区分論 —段階推移の動因を中心に— | 4 |
| 中川 辰洋 | ユーロ圏銀行同盟の課題と展望 ——2014年3月のSRM政治交渉の帰結とインプリケーション—— | 1 |
| | 変容するEUの課題と展望 —ヨーロッパ議会選挙後のプロセスを中心に— | 2 |
| | カンティオン経済理論研究(Ⅰ) | 3 |
| | カンティオン経済理論研究(Ⅱ) | 4 |
| 中村 隆之 | 「企業の社会的責任」とアダム・スミス問題 —倫理と法・経済システムの接合— | 4 |
| 成田 淳司 | 金融政策のトランスミッション・メカニズムについて(Ⅱ)(研究ノート) | 1 |
| 西川 雅史 | 地方公務員労組、賃上げ、フリーライド(研究ノート) | 4 |
| 鈴木 史馬 | IS-LM モデルによるコールレート操作の理解について | 4 |
| 堀 健夫 盛本 圭一 | | |

『青山経済論集』第67巻 総目次

| 執筆者名 | タイトル | 号 |
|-------------------------|---|-----------------------|
| Yumiko Baba | Tangible Effect on Investment in Tullock Contests | 3 |
| 藤村 学 | 大メコン圏における経済回廊効果 —地方レベルのパネルデータ分析—(研究ノート) | 1 |
| 舟島 義人 堀場 勇夫 宮原 勝一 | 地方税と景気対策 —ウェーブレット分析による一試論—(研究ノート) | 4 |
| Fumio Goto | Efficient Semiparametric Estimation for Hybrid Left Censoring | 3 |
| 平出 尚道 | 「アメリカ体制」と「中央『州権』主義」 —1844年大統領選を中心に— | 3 |
| 金田 美加 | 知事の政治的経歴が政策選択に与える影響 歳出構造の変化と相互作用の変化 —地方政府の性質別歳出を用いた実証分析— | 1 2 |
| 金田 由紀子 | ニューヨーク公共図書館「浮世絵コレクション」と 画家ジョン・スローン(Ⅰ) —スローンが「浮世絵」に見た世界— | 3 |
| Jun-Hyung Ko | Effects of Government Taxation and Subsidy on Hours Worked: Evidence from Japan | 2 |
| 牧 和生 | 認知論的文化経済学の学術的意義 | 4 |
| 松本 茂 | 消費者の省エネ機能評価 —選択モデルとヘドニックモデルの比較— 日本の家電保有状況 | 2 3 |
| 松尾 孝一 | 地方公務員の賃金決定システムの変容と労使関係 | 2 |
| 水上 英貴 | 平均値推測ゲーム実験 —青山学院での教室実験結果— | 3 |
| 元山 斉 | 有限母集団からの非復元単純無作為標本に基づく経験密度関数の 漸近的性質 | 3 |
| 中川 辰洋 | カンティヨン経済理論研究(Ⅲ) カンティヨン、ケネー、テュルゴー(Ⅰ) —18世紀フランス価値学説形成の歴史的考察—(研究ノート) カンティヨン経済理論研究(Ⅳ・完) カンティヨン、ケネー、テュルゴー(Ⅱ・完) —18世紀フランス価値学説形成の歴史的考察—(研究ノート) EMU完成のロードマップと行動計画 —“5代表者レポート”のインプリケーション— | 1 1 2 2 3 |

| | | |
|---------|---|---|
| 中 込 正 樹 | 歴史のなかの心理と認知の経済学およびニューロエコノミクス 実験研究 —「無縁の場」の市場、「有縁の場」の贈与社会、および「縁切り」の 貨幣—(試論) | 1 |
| | フオークロアの行動経済学 —「仕事」とは何か「生きる」とは何か— | 2 |
| | 環境リスクと生業のフオークロア —リスクとともに生きそして働いてきた人々の民俗認知経済学— | 4 |
| 中 村 隆 之 | ハロッドの感情論 —ウィーナー=安富の学習理論を手がかりに— | 2 |
| 高 嶋 修 一 | 宮城中央交通の「自鉄分離」問題 —大資本傘下の地方交通経営と労資関係— | 1 |
| 米 澤 義 衛 | 国際経済関係と国民経済の型 —海外直接投資「大国」と先進経済「小国」— | 3 |
| | 消費税と消費者物価 —消費税転嫁の実証分析— | 4 |
| 吉 岡 祐 次 | 最適な検査メカニズムに関する一考察 —検査の質と量および費用関数の関係— | 1 |
| 美 添 泰 人 | 経済統計分析の理論と実際(特別寄稿) | 3 |

『青山経済論集』第68巻 総目次

| 執筆者名 | タイトル | 号 |
|--------------------|---|---|
| Yumiko Baba | Lobbying Activities of Firms with Various Interests | 3 |
| Jonna P. Estudillo | Comparative Advantage in Rice Production: | 1 |
| Manabu Fujimura | Vietnam and Myanmar | |
| 平出尚道 | 1820年代アメリカ保護主義とイギリス穀物法 | 2 |
| 金田美加 | 地方税収の徴税効率に関する一考察 | 3 |
| 河原礼修 | | |
| 元山 齊 | 有限母集団からの非復元単純無作為標本に基づく中央値の漸近正規性の一証明 | 3 |
| 中川辰洋 | テュルゴーとアダム・スミス(I) | 1 |
| | —Aut proximitas, aut differentia— | |
| | テュルゴーとアダム・スミス(II・完) | 2 |
| | —Aut proximitas, aut differentia— | |
| | ヨーロッパ統合の展望と課題 | 3 |
| | —BREXITはEU再生のチャンス— | |
| 中込正樹 | 農具を発達させた知恵のフォークロア | 1 |
| | —生業用民具の考古学および民俗認知経済学— | |
| | 「縁切り」の貨幣——(試論) | |
| | 「生きる達人」になる知恵のフォークロア | 3 |
| | —娑婆世界の和楽と和食そして民俗認知経済学の展開— | |
| | 旅と行商の経験がもたらした「身体的知恵」の民俗認知経済学 | 4 |
| | —近江商人と石門心学の商人道および漂泊民・定住民による社会変動メカニズム— | |
| 中込正樹 | 歴史民俗学的な視点に立つ心理的時間論の実験研究 | 3 |
| 牧和生 | —貝原益軒による「心理的長寿」の知恵の認知科学的・脳科学的実験による再検討—(研究ノート) | |
| 中村隆之 | 「市場」という神様 | 3 |
| | —ケインズの投機論の意義— | |
| 西川雅史 | ある町における談合の発生と伝染(研究ノート) | 4 |
| 落合 功 | 戦後直後の中小企業金融論議(1) | 1 |
| | —国会会議録を素材として—(資料) | |
| | 戦後直後の中小企業金融論議(2) | 2 |
| | —国会会議録を素材として—(資料) | |
| | 戦後直後の中小企業金融論議(3) | 3 |
| | —国会会議録を素材として—(資料) | |
| | 戦後直後の中小企業金融論議 | 4 |
| | —信用組合論を中心に国会会議録を素材として— | |

| | | |
|-------|--|---|
| 佐藤 惣哉 | 人的資本蓄積と中所得国の罨に関する実証分析(研究ノート) | 2 |
| | アジアにおける中所得国の罨と産業構造の関係性(研究ノート) | 3 |
| | アジア諸国の所得分類と産業構造に関する考察 —中所得国の罨に関連して—(研究ノート) | 4 |
| 高橋 重雄 | 青山学院大学経済学部における産学官連携事業の 取り組みについて(第2報)(研究ノート) | 3 |
| 高橋 朋一 | GISを用いた地価公示の複雑系の検証 —山手線を始点駅とする私鉄路線について— | 3 |
| 矢吹 初 | 所得税制改革の効果 | 4 |
| 吉岡 祐次 | —年少扶養控除の廃止問題を中心として—(研究ノート) | |
| 岩田 篤 | | |
| 渡邊 綾乃 | | |
| 深沢 敬二 | | |
| 吉岡 祐次 | 脱税行動に対する罰金形態の比較分析 | 3 |

『青山経済論集』第69巻 総目次

| 執筆者名 | タイトル | 号 |
|--------|--|---|
| 藤村 学 | 学歴論争再訪 —人的資本論vsシグナリング理論—(随想) | 1 |
| 芳賀 寛 | 調査論に関する参考資料(6)(資料) | 3 |
| 橋本 清一 | イタリア語前置詞の機能と分類について(研究ノート) | 4 |
| 畠中 亨 | 公的年金改革と「保険原理」 | 3 |
| 金田 美加 | 現職知事の当落要因に関する一考察 | 1 |
| 加藤 光一 | 現代中国労務派遣労働者 —長江デルタ・蘇州の事例— | 3 |
| 松尾 孝一 | 橋木俊詔著『青春放浪から格差の経済学へ』(書評) | 3 |
| 三和 良一 | 戦間期は歴史のなかでどのように位置づけられるか | 4 |
| 水上 英貴 | 行動原理と推論レベル —教室実験による検証— | 4 |
| 元山 斉 | 調査ウェイトを用いた加重最小2乗法におけるMallowsの C_p 基準について | 3 |
| 永山 のどか | 西ドイツの高度経済成長期における被追放民の住宅と職業 —シュツットガルト・ビュスナウ団地の事例— | 4 |
| 中川 辰洋 | 「ユンケル白書」にみるヨーロッパの将来 —統合速度多様化の容認とそのインプリケーション— | 1 |
| | イタリア式銀行破綻処理の分析 —ヴェネト州の2行の事例を中心に— | 2 |
| | 「資本」概念生成・成立再論 —E.キャナンのアダム・スミス「資本」理論の批判的考察— | 3 |
| 中込 正樹 | 「科学」に依拠しない知性を発揮した先人たちのフォークロア(前編) —トランス・サイエンス時代への教訓を求めての民俗 認知学研究— | 1 |
| | 「科学」に依拠しない知性を発揮した先人たちのフォークロア(後編) —トランス・サイエンス時代への教訓を求めての民俗 認知学研究— | 2 |
| 落合 功 | 信用組合理念の形成 | 3 |
| 白井 邦彦 | 労使関係実態調査におけるフェアとアンフェア —塩路一郎『A自動車の盛衰』と労働判例・労働委員会命令との 比較検討を通じて— | 3 |
| 高橋 重雄 | フリーのGISソフトによる基本的な地図資料の作成方法(資料) | 2 |
| | フリーのGISソフトによる基本的な地図資料の作成方法(その2) (資料) | 4 |
| 高嶋 修一 | 栗原軌道の成立と展開 | 4 |

| | | |
|-------|-----------------------------------|---|
| 矢吹 初 | 配偶者控除の経済効果 | 2 |
| 吉岡 祐次 | —2017年改正の影響—(研究ノート) | |
| 岩田 篤 | | |
| 渡邊 綾乃 | | |
| 深沢 敬二 | | |
| 矢吹 初 | 戦略的基盤形成支援事業プロジェクト活動報告2016(資料) | 3 |
| 高橋 朋一 | | |
| 吉田 健三 | 国際機関における私的年金規制論 | 2 |
| | —OECD勧告と世銀評価指標における「アメリカ化」— | |
| 吉岡 祐次 | 脱税行動に対する租税回避費用の経済効果 | 1 |
| | ——Yitzhaki問題に対する一つのアプローチ——(研究ノート) | |

『青山経済論集』第70巻 総目次

| | 号 |
|---|---|
| Yumiko Baba The Expected Revenue Maximizing Auction and the Efficient Auction Mechanisms with Complements | 3 |
| Mariko Hori Theatre of Ghosts and the Other under the Threat of Mass Death: Some Ethical Thoughts on Plays of Genocide | 4 |
| Nozomu Inoue GIS Analysis of Nursing Facilities in the Tokyo Metropolitan Area, 2010-2060 | 1 |
| 井上 希 GISを用いた人口統計指標の地図化 ——渋谷区における昼夜間人口比率の事例——(資料) | 1 |
| ビジュアルプログラミング言語によるGIS操作の自動化について ——メッシュデータを用いた面積按分法を例に——(資料) | 2 |
| Jun-Hyung Ko Optimal Monetary Policy under News Shocks | 4 |
| 三和良一 経済学は欲望をどのように捉えてきたか | 2 |
| 水上英貴 混合戦略の一貫性 ——O'Neillゲームと簡略版金銭要求ゲームによる検証—— | 3 |
| 元山 齊 有限母集団からの非復元単純無作為標本において中央値の漸近分布が正規分布以外となる一例 | 4 |
| 中川辰洋 Pasokisierung/Pasokisation/Pasokification考 ——ヨーロッパ政治状況の変化とEU統合へのインプリケーション—— | 1 |
| Jean-Baptiste MALET, <i>L'Empire de l'or rouge: Enquête mondiale sur la tomate d'industrie</i> (書評) | 1 |
| アンヌ・ヴィアゼムスキー著『それからの彼女』(書評) | 2 |
| ジョン・ヒル・バートン著『書物の狩人』(書評) | 4 |
| 中込正樹 贈与社会から市場経済への歴史的シフトのニューロエコノミクス 牧和生 実験研究 | 2 |
| 中込正樹 センスメイキングの民俗認知経済学 ——その後の考察の展開——(研究ノート) | 2 |
| 高齢化社会における貧困と民俗学的教訓の考察 ——英知と「老年的超越」を実現する人間社会をめざして—— | 3 |
| 里山に生きた先人たちの心と民俗的知恵 ——美的感情の「感情知性機能」—— | 4 |
| 中村隆之 I.M.ヤングの責任の社会的つながりモデルを成り立たせる経済的条件 ——道徳的行為の資源と「富の責任」制度—— | 4 |

| | | |
|------|---|---|
| 小張敬之 | オックスフォード大学訪問記 ——St. Cross Collegeにて考えた事——(研究ノート) | 4 |
| 落合功 | 奄美信用組合の展開と現在(調査) | 3 |
| 高橋重雄 | フリーのGISソフトによる基本的な地域分析の方法(資料) | 4 |
| 高橋朋一 | GISを用いた訪日外国人の行動分析 ——大阪市を事例にして—— | 2 |
| 矢吹初 | 視線計測と認知の視覚化(研究ノート) | 2 |

『青山経済論集』第71巻 総目次

| 執筆者名 | タイトル | 号 |
|----------------|--|---|
| Yumiko Baba | A Simple Method of Inducing Cooperation in a Finitely Repeated Prisoner's Dilemma Game (研究ノート) | 3 |
| Choi, Jung Yun | Sustainable Growth: | 4 |
| Ko, Jun Hyung | A Trinity or Trilemma of Growth, Equality, and Environment | |
| Mariko Hori | Hamm's Ambivalence in <i>Endgame</i> , a Post-catastrophe Play | 3 |
| Nozomu Inoue | Classification of Small Areas Belonging to Depopulated Municipalities: Using Economic Population Potential | 4 |
| 井上 孝 | 「全国小地域別将来人口推計システム」バージョン3.0とその操作方法について(資料) | 4 |
| 金田 由紀子 | トク・シモムラの「日記」 ——アメリカ合衆国市民への道—— | 1 |
| | ミネ・オオクボとニューヨーク ——日系二世女性画家の「アフター・キャンプ」——(研究ノート) | 4 |
| 加藤 晃 | Alchian and Allen の定理の実証 ——日本の林檎による検証——(2) | 1 |
| 中川 辰洋 | テュルゴー経済理論初期研究の再検討 ——A.ブショー「テュルゴー追悼演説」を手掛かりに—— | 2 |
| | 船木恵子著『はじめて学ぶヨーロッパ』(書評) | 2 |
| | P.F. Sloan and S.E. Weinberg, <i>What's Exactly The Matter With Me?: Memoirs of a Life in Music</i> (書評) | 3 |
| Hiroyuki Obari | The Impact of AI on Teaching EFL in Japan | 4 |
| 落合 功 | 徳之島製糖業の展開と南西糖業株式会社(調査) | 2 |
| | 復興期における中小企業金融(研究ノート) | 3 |
| | 奄美諸島における黒糖製造(調査) | 4 |
| 斎藤 英明 | 高レベル放射性廃棄物の地層処分先を考える(研究ノート) | 4 |
| 高橋 朋一 | | |
| 西川 雅史 | | |
| 白井 邦彦 | 働き方改革関連法と私立大学教員の「労働時間の状況の把握」に関する一試論 ——私立大学の労使関係を考える—— | 1 |

| | | |
|-----------------|---|---|
| 田中晋矢 | 経済時系列データにおける非スパース化Lassoにもとづく 検定統計量の有限標本特性 ——シミュレーション分析による接近—— | 4 |
| 矢吹初 | 機械学習による所得税の判別(研究ノート) | 2 |
| Shinji Yamamoto | Banqueting Trenchers as Emblematic Artefacts in Early Modern England | 1 |
| 山本真司 | “PUBLIC ACTS”としての演劇 ——NT版『ペリクリーズ』(2018)と上書きする移民表象空間—— | 2 |
| | イコノフォビアとペリクリーズの目 ——ポスト・リフォーメーション英国における視覚経験の再構築—— | 3 |
| 米澤義衛 | PEST分析要因とRのトピック分析 ——新聞記事データによるLDA関数の分類性能の 検証/実験——(研究ノート) | 1 |